

美を継ぐ — 澤乃井櫛かんざし美術館 から 細見美術館 へ
櫛かんざしの優品をはじめとする巧緻美しい装身具の数々、約380点をお披露目！

寄贈記念展
澤乃井櫛かんざしコレクション
— 美を継ぐ —

会期 2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)

細見美術館はこのたび、澤乃井櫛かんざし美術館より約5,000点の装身具の寄贈を受けたことを記念する展覧会を開催します。

本展では、尾形光琳や酒井抱一の銘がある櫛をはじめ、お洒落と実用を兼ねた袋物や結髪雛形、世界各国の髪飾りなど約380点の装身具をご紹介します。細見コレクションの江戸絵画との共演も見どころです。

澤乃井櫛かんざしコレクションの新たな門出を祝う記念展にぜひ、お出かけください。



左)《桜花文時繪櫛》 右上)《鷺時繪櫛》 銘「法橋光琳」印「方祝」 右下)《萩時繪櫛》 銘「抱一筆(印)・昇龍斎」
すべて澤乃井櫛かんざしコレクション

澤乃井櫛かんざし美術館について

元祇園の芸妓で、後に料亭の女将として活躍した岡崎智予氏(1924-1999)の蒐集品を一括継承し、1998年4月に東京都青梅市に開館。文化が爛熟し工芸技術が最も高い水準に達した江戸後期から昭和までの櫛かんざしを主軸としたコレクションに、新たに作品・資料を加え、装身具の魅力をさまざまな角度から紹介してきた。2024年8月閉館。

— 主な出品作品 —



《蜻蛉秋草蒔絵螺鈿象牙二枚櫛》 銘「芝山」



《北斎「富嶽三十六景」写し蒔絵櫛》 銘「巨満遠舟写」



《北斎「富嶽三十六景」写し蒔絵印籠》



《洞卷文蒔絵櫛》 銘「羊遊斎」



《セルロイド櫛・簪》



結髪雛形「春信風島田」



《旭ダイヤ簪》



《文明開化飾り金銀珊瑚びらびら簪》

※すべて澤乃井櫛かんざしコレクション



細見コレクションとの共演も

《江戸風俗図巻》(部分) 山東京伝 序跋 細見美術館蔵
【展示期間：9月6日～9月28日】

— 展覧会概要 —

*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

展覧会名称	「寄贈記念展 澤乃井櫛かんざしコレクション —美を継ぐ—」
会 期	2025年9月6日(土)～10月13日(月・祝)
開館時間	午前10時～午後5時
休館日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入館料	一般 1,800円 学生 1,300円
主催	細見美術館 京都新聞
会場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp

※最新情報・詳細は[WEBサイト](#)をご覧ください。

事前予約不要 | 混雑時は入場をお待ちいただく場合があります。



おしゃれでお得に

きもの割 実施!

会期中、きもの姿でご来館いただくと
200円引きでご入館いただけます。

一般 1,800円 → 1,600円

学生 1,300円 → 1,100円

※ご本人様のみ対象。※和装(浴衣も含む)の方が対象。

※他の優待との併用不可。

※学生の方は、学生証のご提示が必要です。



展覧会資料(画像)・取材をご希望の方は、[ホームページリリースページ](#)

もしくは左記QRコード「[資料・ご取材申込フォーム](#)」からお申込みください。

本展連絡先 細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代)

広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

細見美術館